

水稻病害虫防除情報

第1号（7月19日発行）

発行者	赤相農業共済事務組合	(0791) 45-1101
連絡先	光都農業改良普及センター	(0791) 58-2209
	兵庫西農業協同組合	
	西播磨営農生活センター	(0791) 52-2224
	赤穂営農センター	(0791) 42-2651
	相生市農業協同組合	(0791) 22-0676

1 水稻の生育状況・病害虫発生状況

平年より気温が高く、降水量も多い気象状況のため、6月上旬移植では草丈、分けつは平年並みとなっています。高温で早生の出穂が数日早まる見込みです。

▶ 生育調査結果（7月19日調査）

品種（調査地点）	草丈（cm）	茎数（本／株）	備考
ヒノヒカリ （赤穂市高野）	54.2	11.4	移植日 6月10日
キヌヒカリ （相生市入野）	64.5	18.8	移植日 6月9日
ヒノヒカリ （上郡町大枝）	49.1	21.3	移植日 6月11日

▶ 病害虫調査結果（7月19日調査）

病害虫名	調査結果の概要
いもち病	一部で発生しています
紋枯病	各地で発生しています
縞葉枯病	一部で発生しています
ウンカ類	わずかな発生量です
ツマグロヨコバイ	わずかな発生量です

2 今後の管理

- 《 基幹防除 》①いもち病、紋枯病、ウンカ、カメムシ等の被害を防ぐため、栽培こよみを参考に防除を徹底してください。
②紋枯病発生が目立つため、あぜ際の株元をよく確認してください。

品種	防除時期	主な薬剤名	量（10a）
キヌヒカリ	7月下旬～8月上旬 （出穂7日前～出穂始め）	ビームトレモンセレン粉剤DL	4kg
ヒノヒカリ	7月下旬～8月上旬	アプロードロムダンモンカットF粉剤DL	4kg

※住宅地の近辺など粉剤防除が難しい場合は粒剤防除を！（粉剤より少し早めに）

品種	防除時期	主な薬剤名	量（10a）
キヌヒカリ	7月下旬	コラトップトレボン粒剤	4kg
ヒノヒカリ	7月下旬～8月上旬	モンガリット粒剤、コラトップトレボン粒剤	4kg

《 中干し 》①無効分けつの抑制、倒伏軽減、コンバインの作業性向上のため、中干しを行いましょう。目安は1株あたりの分けつが16本～18本程度の時期で、軽くひびが入る程度（5～7日間）を標準とします。

②中干し後は、間断かん水による浅水管理で根の活力を維持しましょう。

《 その他 》①斑点米の原因となるカメムシの水田進入を減らすため、出穂2週間前までの畦草刈りを徹底しましょう。

②穂ばらみ期から穂ぞろい期までは十分に水をためましょう。

**農薬の飛散防止に努めましょう。
作業中の熱中症対策を忘れずに！**

次回発行予定 8月2日です